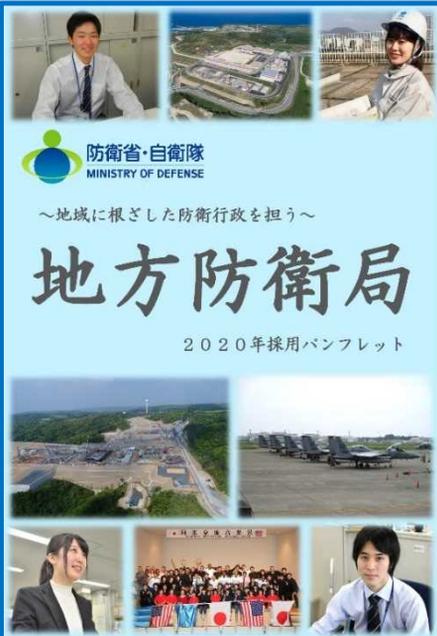




岩国市サンライズグリーンセンター(写真提供:岩国市)



目次

- ◆ 中国四国防衛局長 森田 治男 着任挨拶
- ◆ 錦川鉄道「清流みはらし駅」開業記念式典(山口県)
- ◆ 岩国市サンライズグリーンセンター竣工式
- ◆ 和木町立和木こども園 オープニングセレモニー
- ◆ 岩屋防衛大臣による山口来訪について
- ◆ 陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)について
 - ①原田防衛副大臣による山口県知事等への説明
 - ②萩市議会及び阿武町議会全員協議会、萩市民及び阿武町民の方々への住民説明会開催
- ◆ 海上自衛隊第1術科学学校長 丸澤 伸二 海将補 御挨拶
- ◆ 海上自衛隊第31航空群司令 大西 哲 海将補 御挨拶
- ◆ 防衛装備庁艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト(仮称)の起工式
- ◆ 29年度計画音響測定艦起工式
- ◆ 職員の独り言
- ◆ 採用試験の御案内

地方防衛局の採用パンフレットはこちらのQRコードでご覧頂けます。 ⇒



編集・発行 中国四国防衛局

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30

Tel 082-223-7109



令和元年7月10日付で中国四国防衛局長を拝命しました森田です。初めての中国四国防衛局勤務となります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

これまでこの地域との関わりは、学生時代の広島訪問などを別にすると、もっぱら防衛本省での仕事を通じてでしたので、今回の勤務は大変貴重な機会であり、色々な面からこの地域への理解を深めていきたいと思っており、地元と自衛隊・米軍をつなぐ職責の重さを強く感じているところです。

当局の担当する中国四国9県には、飛行場、港湾、演習場等の自衛隊施設や岩国飛行場を始めとする在日米軍施設が所在しています。これらの施設を運用し、自衛隊・在日米軍が必要な機能を発揮し得るためには、地元自治体や住民のご理解が特に重要です。また、昨今の安全保障環境において、イージス・アショアの配備も防衛上の重要課題となっています。

こうした中、我が国の平和と安全のため、我が国独自の防衛力である自衛隊と日米安全保障体制の中核を成す在日米軍の活動拠点としての防衛施設を安定的に確保しつつ、防衛施設に起因する地元のご負担を少しでも除去、軽減し、地域社会と防衛施設との調和を図ることを基本として、各種業務に取り組んでいく所存です。

一つ一つの課題を丁寧に解決していくこと、その積み重ねが我が国の防衛を全うすることに些かなりともつながるとの思いで、地元の皆様方の声によく耳を傾け、真摯に努力してまいります。

錦川鉄道「清流みはらし駅」 開業記念式典(山口県)



平成31年3月19日、錦川鉄道の南桑―根笠駅間(岩国市美川町)に完成した新駅「清流みはらし駅」の開業記念式典が山口県の弘中副知事、岩国市の福田市長、中国四国防衛局の赤瀬前局長や地元関係者約40人の出席のもと行われました。式典は、北河内駅に停車した観光列車として運行する「キハ40」の車内で行われ、式典後は同列車で「清流みはらし駅」へと移動し、駅名除幕式が行われました。

新駅のホームは、延長約25メートル、幅員約2メートルの乗車区画と、延長約9メートル、幅員約3メートルの展望区画で構成されており、乗車区画に設置されている屋根は錦帯橋をイメージしたものとなっています。

新駅は、車や徒歩ではたどり着くことができない無人駅で、イベント用の企画列車を利用した乗客のみが訪れることができる「秘境の駅」となっており、再編関連特別地域整備事業として、交付金約1億円が活用されています。



写真提供:錦川鉄道(株)

岩国市サンライズクリーンセンター竣工式

平成31年4月19日、岩国市においてサンライズクリーンセンターの竣工式が、福田岩国市長、藤本岩国市議会議長、赤瀬前中国四国防衛局長等関係者の列席のもと行われました。

サンライズクリーンセンターは、旧岩国市第一工場（H4）、周陽環境整備センター（H6）が建設されてから25年以上が経過し、老朽化が進み、維持管理費が増大していたことから、新たなごみ処理施設として整備され、このたび晴れて竣工式をむかえたものです。

本事業は、平成23年度から平成30年度までの間で行われ、総事業費は約195億円、そのうち基地周辺対策経費約146億円が充てられ整備されました。

これにより、従来のごみ処理施設と比べ、長期にわたる安定的な稼働、排ガスへの対策、余熱についても余熱利用施設で利用するなど、循環型社会の形成に向けた基幹施設となり、住民のごみ処理に対する環境意識の向上の一助となることで、生活環境の向上が期待できるものです。



福田 岩国市長による式辞



赤瀬 前中国四国防衛局長による祝辞



サンライズクリーンセンター外観



安定的な焼却を実現する中央制御室



排ガスの有害物質を抑制する触媒反応塔



余熱利用を行うための発電機



和木町立 和木こども園 オープニングセレモニー



平成31年3月22日、和木町立和木こども園の開園に先立ちオープニングセレモニーが同園の2階遊戯室で行われ、和木町の米本町長、西村町議会議長、中国四国防衛局の赤瀬前局長や地元自治会関係者約120人が出席されました。

この施設は、老朽化し耐震性が不足していた町立の和木幼稚園と和木保育所を移転、統合し、幼稚園と保育所の機能を併せ持った一体型施設のこども園として整備され、園児定員数は292人となり、公立の認定こども園としては山口県内最大規模の施設となります。

「遊びを通じて心と身体を育む」をコンセプトに遊び場が充実され、壁登りが楽しめる「クライミングウォール」や園庭と屋上遊び場を結ぶスロープ「コロコロ坂」などの遊戯施設が設けられています。

この施設は工事費約11億5千万円のうち、再編交付金約7億円、防音補助金約6千万円が活用されています。



こども園全景



0歳児用保育室



クライミングウォール

写真提供:和木町教育委員会



岩国飛行場関係自治体首長及び関係地方議会議員との意見交換

令和元年7月2日、岩屋防衛大臣が岩国市役所を訪れ、岩国飛行場の関係自治体（山口県、岩国市、和木町、周防大島町、大竹市）の首長及び関係議会議員に、昨年3月に岩国飛行場への移駐が完了した空母艦載機及びKC-130やF-35B受け入れに対して感謝の意を伝えました。また、安心・安全対策、地域振興策について熱心に意見交換が行われました。

意見交換会には、岩屋大臣のほか防衛省から山村海上幕僚長、中村地方協力局長、青柳前報道官及び赤瀬前中国四国防衛局長が同席しました。



山口県庁における知事、萩市長、阿武町長及び各議長との面談



令和元年7月3日、岩屋防衛大臣が山口県庁を訪れ、山口県知事、萩市長、阿武町長、山口県副知事、山口県議会議員、萩市議会議員及び阿武町議会議員に対し、陸上配備型イーグス・システム（イーグス・アショア）に係る秋田県及び秋田市への説明資料に誤りがあったこと、秋田市での住民説明会における職員による不適切な対応など、ご心配をおかけしたことを謝罪するとともに、原田副大臣を長とした「イーグス・アショア整備推進本部」を令和元年6月17日に立ち上げ、原点に立ち帰って調査もしっかりとやり直した上で、丁寧なご説明ができる体制をとらせていただいている旨を伝えました。

山口県知事からは、「精密な現地調査を実施し、正確なデータに基づいて丁寧な説明をしてほしい。」等のご発言があり、岩屋大臣は、「もう一度しっかりと調査を行い、データを精査し、ご理解がいただけるよう努力してまいります。」等と述べられました。

山口県庁訪問後、岩屋大臣は現地の状況をしっかりと確認したいとのお考えから、陸上自衛隊むつみ演習場を視察されました。



原田防衛副大臣による山口県知事等への説明



令和元年5月28日、原田防衛副大臣が山口県庁を訪れ、山口県知事、萩市長、阿武町長、山口県副知事、山口県会議長、萩市会議長及び阿武町議会副議長に対し、陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)の配備候補地である陸上自衛隊むつみ演習場に係る各種調査の結果及び防衛省の検討結果について説明されました。



原田副大臣は、イージス・アショアのレーダー波は周辺住民の皆様の人体に影響を与えないこと、演習場周辺の水環境には具体的な措置を講じることにより影響を生じさせないこと等を説明し、各種調査の結果、住民の安心・安全を確保するため具体的な対策を踏まえることにより、イージス・アショアはむつみ演習場において安全に配備・運用できるものと考えていることを伝えました。

山口県知事からは、「地域住民の安心・安全に対する不安や懸念の払拭に向けて、詳細かつ丁寧な説明が行われるなど、住民に寄り添った対応に努めて頂きたい。」等のご発言があり、原田副大臣は「地元の皆様のご理解が得られるよう、誠意をもって取り組んでまいります。」等と述べられました。

萩市議会及び阿武町議会全員協議会、 萩市民及び阿武町民の方々への住民説明会開催

令和元年6月6日及び7日、深澤審議官ほか萩市議会及び阿武町議会の全員協議会において、また、6月14日から17日までにかけて、赤瀬前中国四国防衛局長ほか住民の方々に対し、陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)の配備候補地である陸上自衛隊むつみ演習場に係る各種調査の結果及び防衛省の検討結果について説明しました。



阿武町全員協議会



萩市住民説明会



平成31年4月1日付、海上自衛隊第1術科学学校長を拝命した丸澤将補です。海軍兵学校以来の伝統の地において、現在そして将来を担う隊員の育成に校長として従事することができ大変光栄に思います。

第1術科学学校は、主に艦艇勤務に必要な術科(スキル)に関する専門教育を行う学校で年間約2500名の隊員が修業し、海上防衛の最前線で活躍しています。

ここ江田島は、明治21年に海軍兵学校が東京築地から移転してから131年を迎え、また、昭和31年に海上自衛隊術科学学校が横須賀から移転してから63年間、「海の防人」の育成拠点としての歴史を紡いでいます。

白砂青松の環境の下、良き伝統を継承しつつ、健全な精神と高いスキルを備え、献身的で誠実な船乗りの育成に力を尽くしたいと考えています。引き続き皆様からの御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



海上自衛隊第1術科学学校HPにはこちらのQRコードでご覧頂けます。⇒





おおにし さとる



平成31年4月1日付で第31航空群司令に着任した大西哲(おにし さとる)です。どうぞよろしくお願いいたします。皆様におかれましては、平素より海上自衛隊岩国航空基地に対する多大なご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第31航空群は、海上自衛隊航空部隊の中でも洋上救難情報収集、訓練支援等の他にはない独特の機能・任務を持つ部隊が集まっており、US-2、EP-3、OP-3C、U-36A、UP-3Dといった多様な種類の航空機と強い使命感をもって地政学的にも重要なこの地において、日々緊張感を持って各種の任務・待機等を実施しております。

また、当群は、国内最大級の日米共同使用の基地である岩国航空基地と、広島県江田島市にまたがり部隊を運営しており、陸上・航空自衛隊、米海兵隊、米海軍と緊密に連携するとともに、山口県、岩国市をはじめとする関係機関等と協力しつつ、「地域とともにある部隊」として、隊員一同が積極的に地域との交流を深めながら、より良い任務・業務の実施を図ってまいります。



海上自衛隊第31航空群HPにはこちらのQRコードでご覧頂けます。⇒





防衛装備庁 艦艇装備研究所 岩国海洋環境試験評価サテライト(仮称)の起工式

平成31年4月16日、「防衛装備庁 艦艇装備研究所 岩国海洋環境試験評価サテライト(仮称)」事業の関連施設整備予定地である岩国市の通津沖工業団地内において、工事受注者が主催する試験棟1及び受電所の起工式が行われ、防衛省の関係者のほか、山口県知事、山口県議会議長、岩国市長、岩国市議会議長及び岩国商工会議所会頭並びに同工業団地の企業及び地元自治会など多くの関係の方々が参列されました。

この試験棟1などの整備は、内閣官房の「まち・ひと・しごと創生本部」により決定された「政府関係機関移転基本方針」に基づき山口県から誘致提案され、新たな研究施設が岩国市に整備されることになったものです。

試験棟1は、大型タンク及びシミュレーション装置を活用して、海洋における多様な任務に適合可能な水中無人機の研究に対する試験評価を実施するもので、2021年度以降の早い段階から運用を開始することを目指しています。

また、本施設は、地元の高等教育機関や研究機関等との研究協力や、国内の水中無人機分野に関する技術の向上にも貢献できるものと考えられ、これらについて防衛省は山口県及び岩国市と連携して調査・検討していくこととしております。



山口県
村岡知事



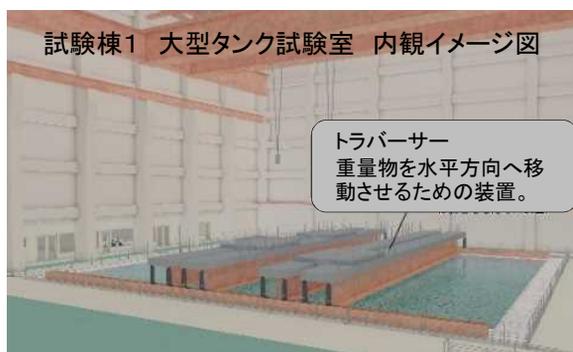
岩国市
福田市長



防衛装備庁
外園防衛技監



中国四国防衛局
赤瀬前局長



試験棟1 大型タンク試験室 内観イメージ図

トラバーサー
重量物を水平方向へ移動させるための装置。

岩国海洋環境試験評価サテライト(仮称)2021年度運用開始イメージ図
※計画段階のイメージ図であり色彩等については変更の可能性があります。



29年度計画音響測定艦起工式

平成31年3月5日、岡山県玉野市の三井E & S造船(株)玉野艦船工場において、29年度計画音響測定艦(以下「29AOS」という。)の起工式が行われ、中国四国防衛局から赤瀬正洋前局長、藤本防衛補佐官、葛谷玉野防衛事務所長以下事務所員そして三井E & S造船(株)の関係者が出席しました。

今回建造される艦は、海洋における音響情報を収集し、日本周辺海域における安全を確保するために29年ぶりに「ひびき」型の3番艦として建造されます。

起工式では、地元「玉比咩神社」の宮司によって神事が行われ、工事期間の安全、艦の安全が祈願されました。また、溶接行事では、赤瀬前局長が準備されたプレートに「A. M」のイニシャル・サインを施した後、溶接機械を作動、「29AOS」の建造工事が開始されました。このサインされたプレートは、船体に備える神棚の後ろ側等の見えない箇所で船体の一部として実際に使われる予定となっています。

今後は、いくつかの船体ブロックを製造・搭載を繰り返し、令和2年1月には船体搭載完了し、艦命名、進水式を行う予定となっています。



職員の独り言

私は、平成30年4月1日付で中国四国防衛局調達部土木課へ配属され、米軍施設の建設工事に関する工事監督官業務に従事し、広島合同庁舎内の執務室だけでなく、米海兵隊岩国航空基地の監督官事務所でも業務を行っています。

これまでに岩国飛行場での滑走路の運用に関する雨水排水工事を担当し、工事の書類の確認や実際の現場の監督を行ってきました。

私は大阪で生まれ育ち一度も大阪以外の地で過ごしたことはありませんでしたが、新天地である広島の雰囲気にもようやく慣れてきたところです。最初は不安だった仕事も分からないことがあれば、上司や先輩方から丁寧に教えていただきました。今は分からないことがあっても、すぐに上司や先輩に聞くのではなく、自分で解決出来るよう心掛けています。

私の趣味は、音楽鑑賞と友人と呑みに行くことです。監督官事務所に電車出張している間は、中孝介「花」、三代目「花火」という曲等を聞き、課業時間後は、友人や先輩と呑みに行くなど仕事だけでなく、プライベートも充実した毎日を送っています。

一日でも早く仕事を覚えて、先輩のように仕事がこなせるように努力していきたいです。



まつだ けんせい
(土木課 松田 賢生)

「地方防衛局」ってこんなところ。私たちと一緒に働きませんか。

地方防衛局は、防衛省の地方支分部局として、全国の主要都市に所在し、組織の大半が事務官(事務職)と技官(技術職)で構成された、**事務官と技官が中心の組織**です。また、勤務先は駐屯地や基地ではなく、地方に所在する合同庁舎が主となります。

地方防衛局は、自衛隊及び在日米軍の活動基盤となる防衛施設の安定的使用を目指し、防衛施設の整備や自衛隊及び在日米軍の活動が円滑かつ効果的に実施されるよう地方公共団体及び地域住民の理解及び協力を確保する役割を担っています。また、地方公共団体や地域住民との関係を良好に保つため、基地周辺地域の生活環境等を整備する様々な施策を行っています。

地方防衛局は、**陸・海・空自衛隊及び在日米軍と地方公共団体及び地域住民を繋ぐ架け橋**として、重要な役割を果たしています。

官庁訪問や業務セミナーの日程をチェック！

お問い合わせをお待ちしています。

担当:中国四国防衛局総務部総務課人事係

連絡先:082-223-7105(直通)

<http://www.mod.go.jp/j/saiyou/index.html>



陸・海・空の自衛官を募集しています!!

2019年度自衛官等採用案内

種目	採用	受付期間
航空学生	海・空	7月1日～9月6日
一般曹候補生	陸・海・空	
自衛官候補生	陸・海・空	年間を通じて行っています。

※詳しくは、最寄りの地方協力本部へお問合せ下さい。

鳥取地方協力本部
0857-23-2251



島根地方協力本部
0852-21-0015



岡山地方協力本部
086-226-0361



広島地方協力本部
082-221-2957



香川地方協力本部
087-823-9206



守ろうみんなの国
0120-063792
年中無休受付時間 12時～20時



山口地方協力本部
083-922-2325



徳島地方協力本部
088-623-2220



愛媛地方協力本部
089-941-8381



高知地方協力本部
088-822-6128



日本の「アメリカ」で働きませんか!

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

求人情報

(スマートフォン)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】

■岩国支部 (岩国基地)

岩国市中津町2-15-35

TEL:0827-21-1271

■呉分室 (広島県内の在日米軍基地)

呉市中央1-6-9センタービル呉駅前

TEL:0823-32-7087

「エルモ」が応援!
あなたの就活!

<https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索